

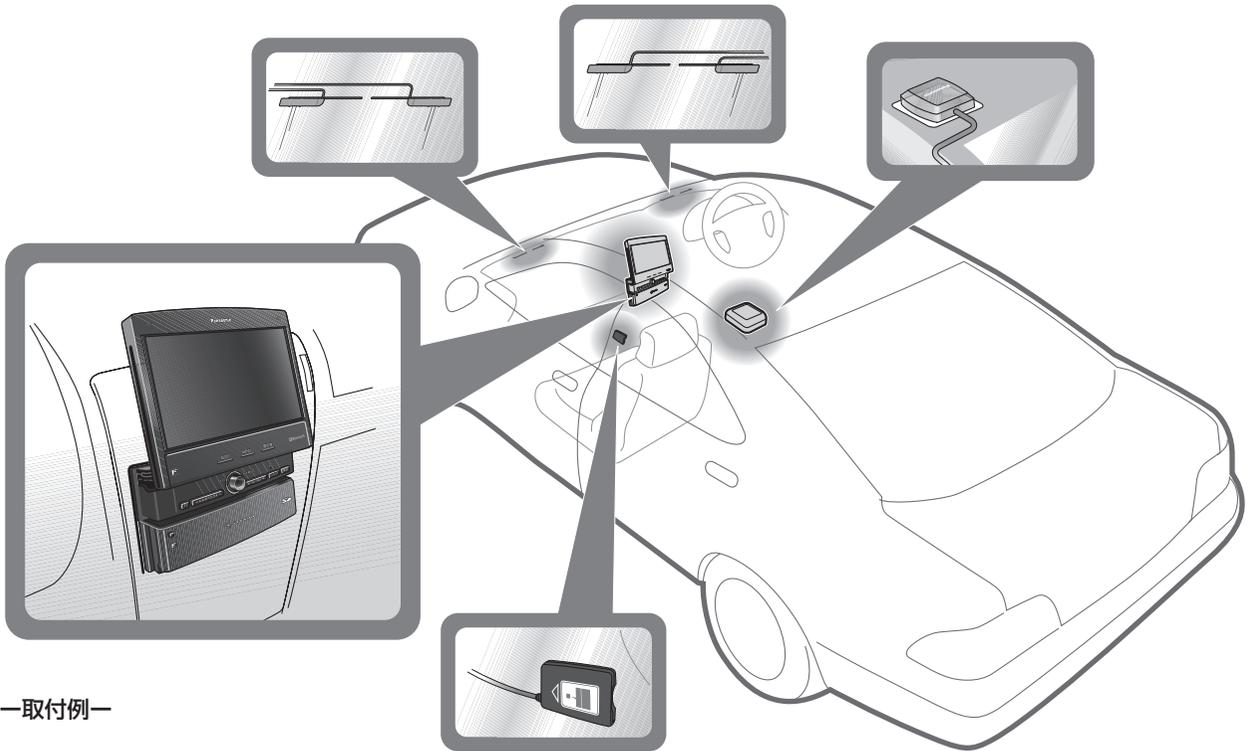
取付説明書

設置と接続



7V 型ワイドVGA インダッシュ地上デジタルTV/AV システム
DVD/CD 内蔵 HDD カーナビステーション

品番 **CN-HX1000D**



—取付例—

取り付け・配線の前に、別冊の取扱説明書の「安全上のご注意」(P.6～11 ページ)を必ずお読みください。

お客様へのお願い

本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

販売店様へのお願い

本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へ
ご返却ください。

内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

- 本書での長さ表記は、おおよその寸法です。
- 本書でのイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

番号	品名	数量
ナビゲーションユニット関係		
①	ナビゲーションユニット	1
②	座付きねじ (M5 × 6 mm)	2
③	皿ねじ (M5 × 6 mm)	4
④	スペーサー / 両面テープ	各2
GPS アンテナ関係		
⑤	GPS アンテナ (コード 6 m)	1
⑥	防水ゴム (GPS アンテナコード用)	1
⑦	金属シート (車内取付用)	1
⑧	保護シート (車外取付用)	1
⑨	コードクランパー	5
リモコン関係*		
⑩	リモコン	1
⑪	単 3 形乾電池	2
⑫	リモコンホルダー	1
⑬	両面テープ (20 mm × 50 mm)	1
モニター関係		
⑭	モニターユニット	1
⑮	座付きねじ (M5 × 6 mm)	2
⑯	皿ねじ (M5 × 6 mm)	4
⑰	座付きねじ (M4 × 3 mm)	4
⑱	スペーサー / 両面テープ	各2
コード / ケーブル関係		
⑲	電源コード	1
⑳	車速信号中継コード (桃色 : 1.5 m)	1
㉑	電源・音声コード (45 cm)	1
㉒	車両 AV インターフェースコード	1
㉓	RGB ケーブル (55 cm)	1
㉔	iPod 中継ケーブル (2 m)	1
㉕	圧着式コネクタ	4

番号	品名	数量
地上デジタルテレビ関係		
㉖	B-CAS カードリーダー	1
㉗	地上デジタルアンテナ (A・B 1セット)	2組
㉘	地上デジタルアンテナコード (A・B 1セット : 4 m)	2組
㉙	コードクランパー	12

※リモコンの取り付けかたと電池の入れかたは、取扱説明書をご覧ください。

主な添付品

品名	数量
基本操作ガイド	1
取扱説明書	1
取付説明書	1
はじめて使うときの準備	1
取付ゲージ	1
仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ	1
B-CAS カード (ユーザー登録ハガキ付)	1

その他の付属品

品名	数量
クリーニングクロス (液晶ディスプレイ用)	1
クリーナー (地上デジタルアンテナ用)	2

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。
(☞裏面)
また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。
(☞裏面)

作業の順序

- 1 バッテリーの⊖端子をはずす。
- 2 配線する。
 - 他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
 - ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- 3 取り付ける。
- 4 バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

松下電器産業株式会社 パナソニック オートモーティブシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町 4261 番地

お客様ご相談センター ● 電話 ☎ 0120-50-8729

フリーダイヤル 受付 9:00 ~ 17:00/365 日

● 一般電話 045-929-1265 (携帯電話・PHS など)

● FAX 045-938-1573

一般電話・FAX 受付 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・当社休日を除く)

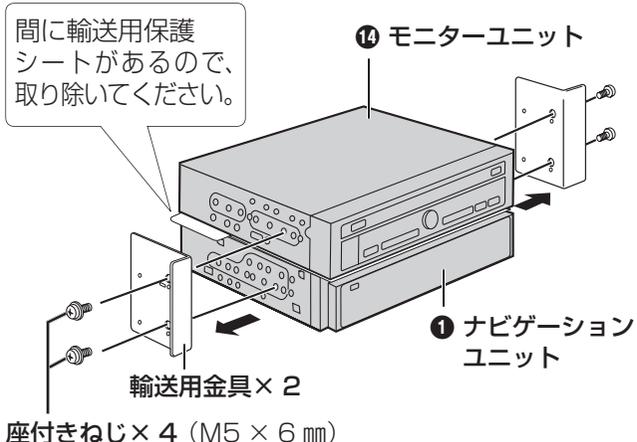
※一般電話、および FAX をご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

© 2008 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

YEFM294497 F0508-0

ナビゲーションユニット・モニターユニットの取り付けかた

準備 ●ナビゲーションユニット・モニターユニットの輸送用金具をはずしてください。



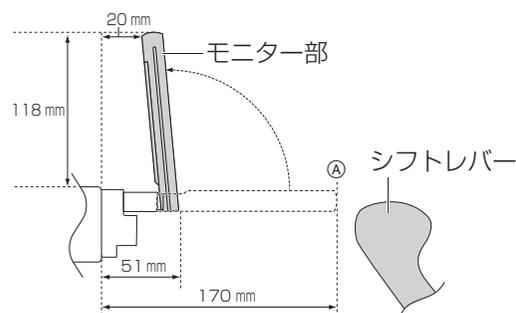
取りはずした座付きねじ(4本)は、ナビゲーションユニットおよびモニターユニットの取り付けに使用場合があります。

モニターユニット取り付け位置について

車種によっては、下記などの理由により取り付けられない場合があります。

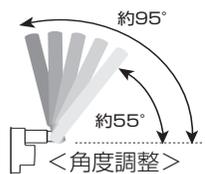
- ダッシュボードの形状や寸法が合わない。
- 取付角度が30°を超える。
(裏面「取り付け・配線の確認」)
- モニター部がシフトレバーなどに接触する。

詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

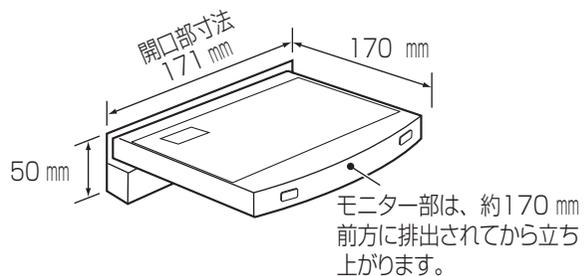


●初めてモニター部を立ち上げたときは、図の④の位置まで自動的に排出され、その後約95°までモニターが立ち上がります。シフトレバー等に接触しない位置、および運転上の操作(シフトレバー操作、ハンドル操作等)に支障のない位置に取り付けてください。

●モニター部の角度の調整範囲は、ご使用状態(取付位置や取付角度等)により、一部制限される場合があります。



取り付け部の寸法・角度の確認



オーディオスペースがDINサイズまたは2DINサイズでない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
DINサイズ (横180mm×縦50mm)
2DINサイズ (横180mm×縦100mm)

使用する取り付け金具(ブラケット)は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- トヨタ車(DINサイズ採用車)
純正カーオーディオを固定していたブラケットをご使用ください。
- 日産・本田・マツダ車(DINサイズ採用車)
別売の車両メーカー別標準取り付けキット、または車種別の取り付けキットをご使用ください。
- 上記メーカー以外の車
別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットをご使用ください。

お願い

- 水平に対して、30°以下の角度で取り付けてください。
(裏面「取り付け・配線の確認」)
取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。30°を超える場合は、床やトランクなどに取り付けてください。
- アマチュア無線機などのアンテナの近くに取り付けしないでください。
画像が乱れる原因になります。
- エアバッグや盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーをはずすと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。

お知らせ

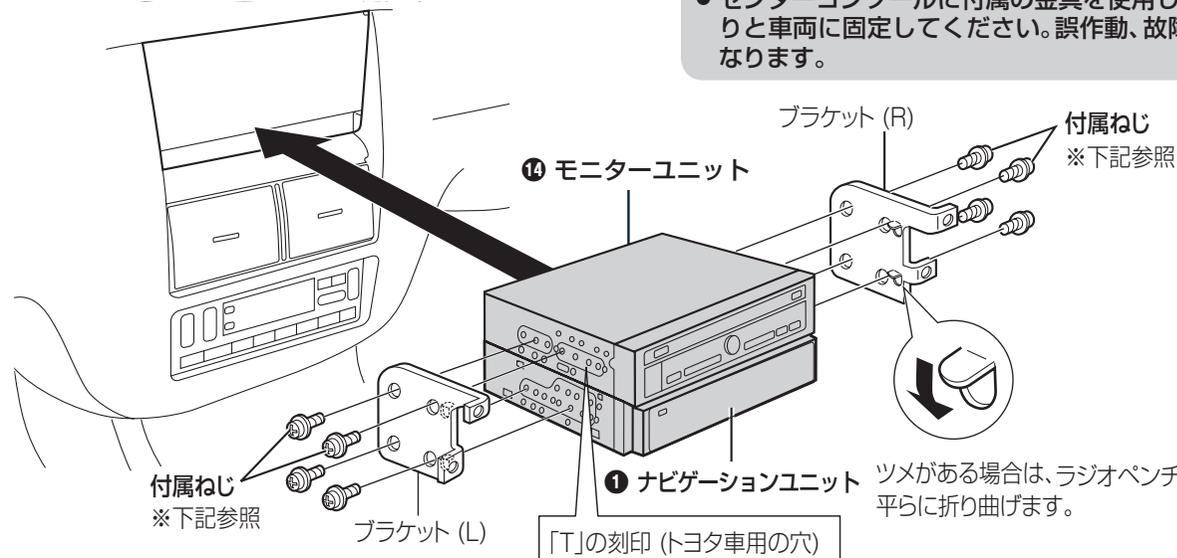
- 年式、車種、グレードにより、専用キット(別売)が必要となる場合があります。
- 車両側との配線が容易にできる専用の中継コード(別売)があります。
- センターコンソールの形状や寸法によって、取り付けられない場合やシフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り付けかた

取付例 2DINサイズ採用車

必ずモニターユニットを上側、ナビゲーションユニットを下側に取り付けてください。

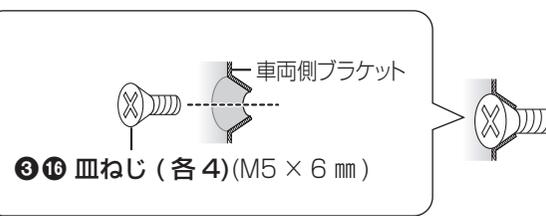
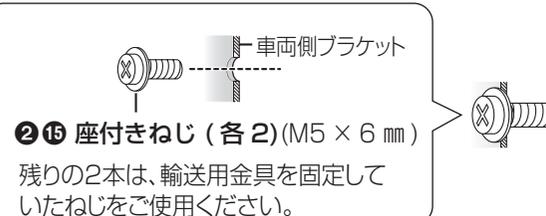
(モニターユニットを下側にすると、モニターが立ち上がったときにナビゲーションユニットの前面をふさいでしまいます。)



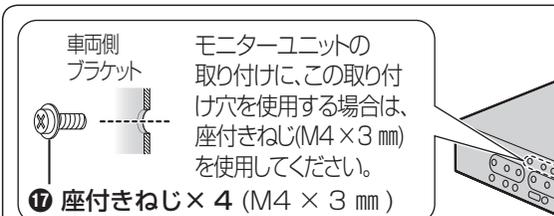
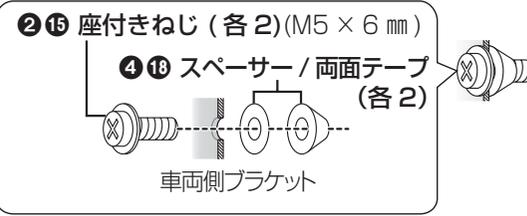
お願い

- 故障の原因になりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。
- センターコンソールに無理に押し込まないでください。配線(コネクターやコード)に負担がかかり、接続不良の原因になります。
- 本機の前面を強く押さないでください。本機のボタンなどが破損する原因になります。
- センターコンソールに付属の金具を使用して、しっかりと車両に固定してください。誤作動、故障の原因になります。

付属のねじは、取り付け金具(ブラケット)の穴形状に合わせて選んでください。



ブラケットが不安定な場合には、スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。



ナビゲーションユニットをトランクや床に取り付ける場合は

トランクや床に取り付ける場合、付属のケーブルではモニターユニットとナビゲーションユニットを接続できません。別売のケーブル[CA-LND060D(6m)/CA-LND040D(4m)]を使用して、取り付けてください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

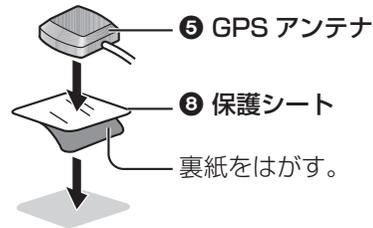
GPS アンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して取り付けてください。

車外に取り付ける (推奨)

1 ルーフの平らな面に取り付ける。



※ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS 衛星からの電波を受信しにくくなります。

2 トランクに雨水が入らないように、コードを引き回す。

トランクリッド開閉時に、コードに無理な力が加わらないよう、ゆとりを持たせてください。



トランクのゴムパッキンより低い位置に貼る。

GPS アンテナのコード



裏返す。

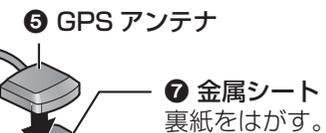


お願い

- GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS 衛星からの電波を受信しにくくなります。
- 洗車などのときは、必ずGPSアンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。

ダッシュボードやリヤトレイの上に取り付ける場合は

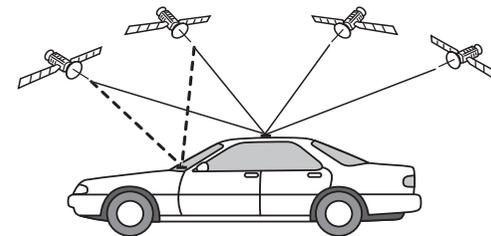
中央部のガラス付近に水平に取り付ける。



20 cm以上

お知らせ

- 車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。



- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」(☎ 取扱説明書)にご相談ください。

お願い

- 金属シートは、
 - ・必ず、付属の金属シートを使用してください。
 - ・折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーションユニットから30 cm以上離してください。
- GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。時計や磁気カードが故障したり、使えなくなる場合があります。

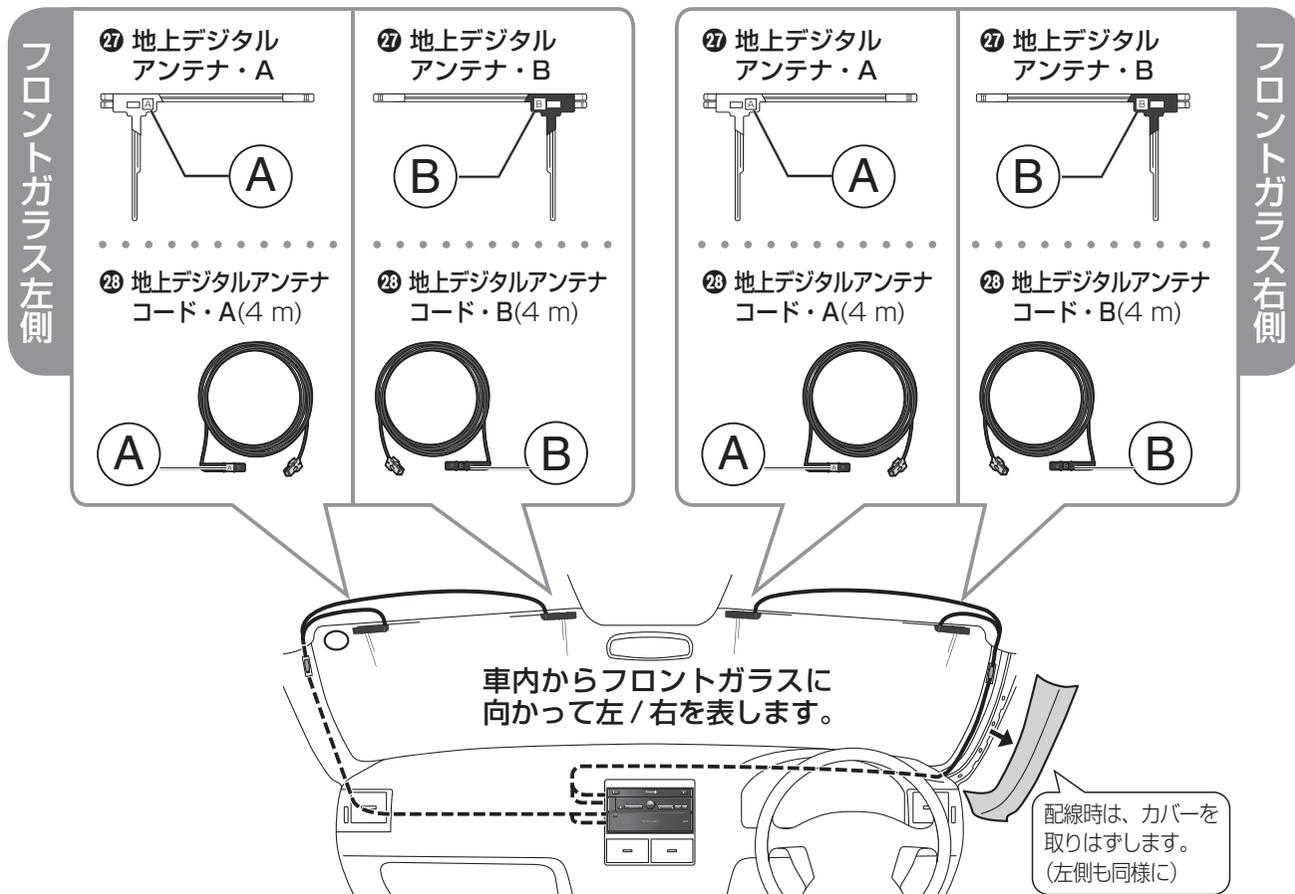
地上デジタルアンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。
熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- アンテナとコードのA・B表示と向きを必ずご確認ください。
- 仮止めて、アンテナを貼り付ける位置(左右)をご確認ください。(貼りなおせません)
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して貼り付けてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合、取り付けできません。
- ガラス面が完全に乾いていない状態でアンテナを貼り付けると、接着不良などによるはがれの原因になります。ガラスが十分に乾いた状態で作業を行ってください。
・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでフロントガラスを温めてください。
・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。

必ず車室内(フロントガラスの上側)に貼り付けてください。

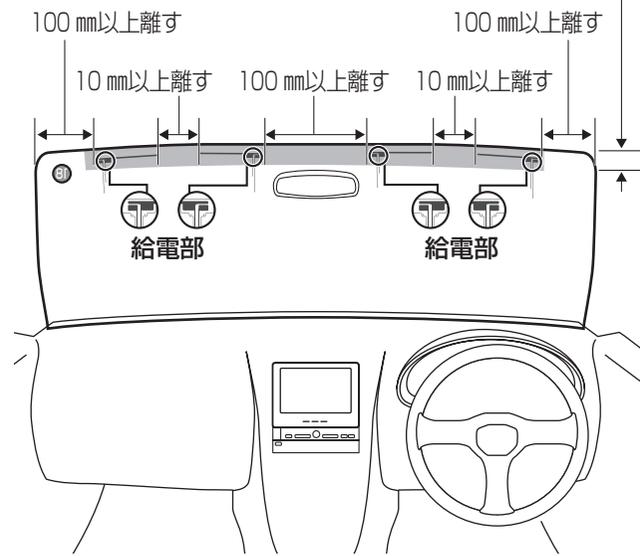
- サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 左ハンドル車の場合も、図のとおり貼り付けてください。
- 地上デジタルアンテナと地上デジタルアンテナコードはAとA、BとBを組み合わせてください。(※下記)
- アンテナを折り曲げないように、お取り扱いにご注意ください。



貼付位置について

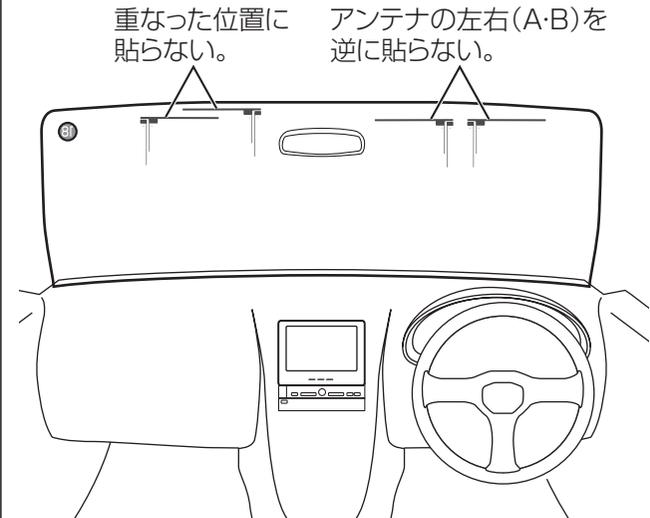
性能を十分発揮するために、必ず指定の位置(■部)に、正しい向きで貼り付けてください。

- 給電部をフロントガラス上部の車体金属部分の近く(フロントウィンドウ上端から25 mm以内)に貼り付けてください。(セラミックライン上にも貼り付けられます。)



✕ 誤った貼り付けかた

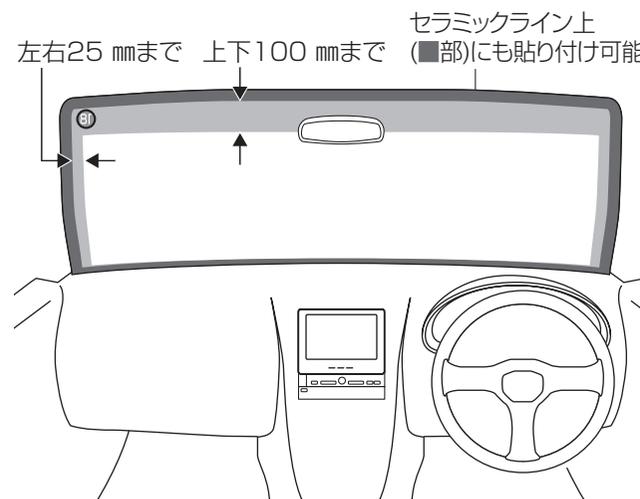
- 指定の位置に正しい向きで貼り付けないと、アンテナの性能を十分に発揮できません。



国土交通省の定める保安基準について

国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。

*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。



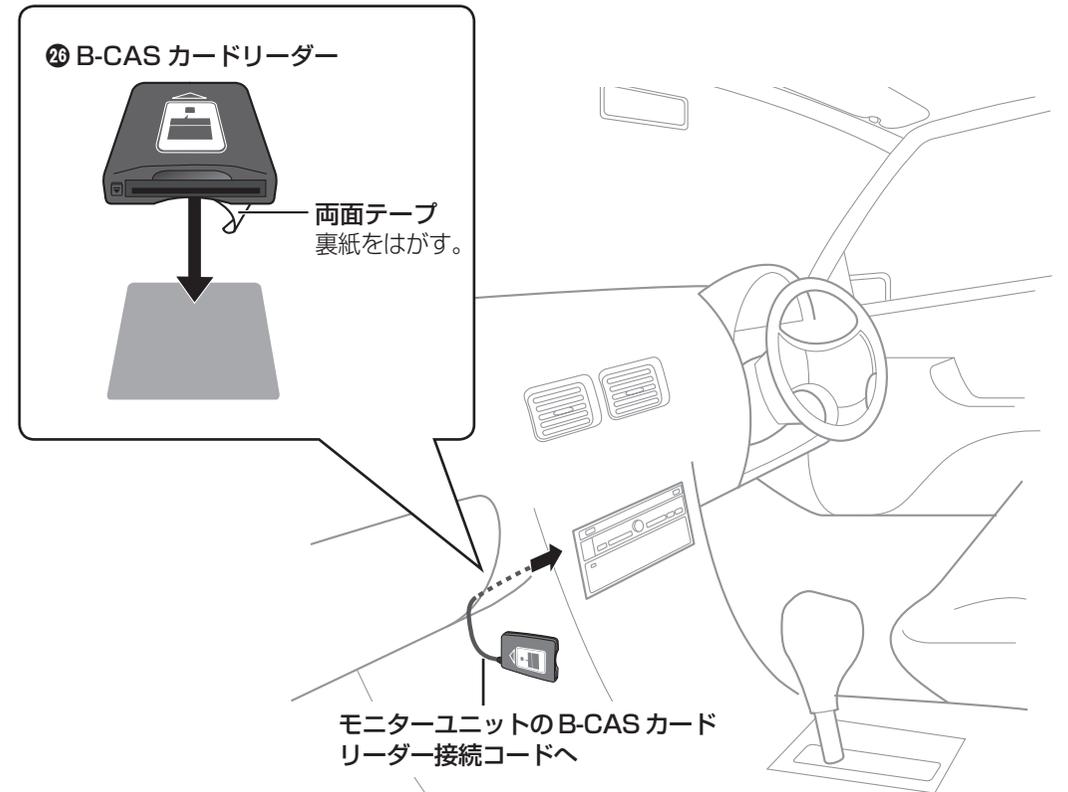
✕ 誤った貼り付けかた

- 下記のような位置には絶対に貼り付けしないでください。国土交通省の定める保安基準に適合しません。



B-CAS カードリーダーの取り付けかた

センターコンソールの横などに取り付ける。



販売店様へお願い

- B-CAS カードは、地上デジタルテレビ放送を受信するために必要です。パッケージを開封すると、「B-CAS カード使用許諾契約約款」に同意されたとみなされますので、開封せず、そのままお客様へお渡しください。

お願い

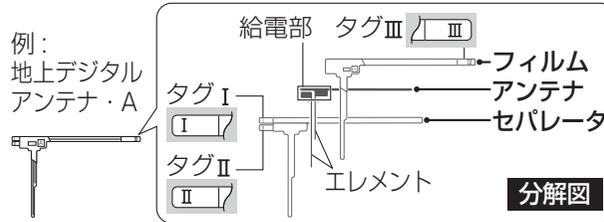
- お使いになる前にB-CASカードを挿入してください。
- 以下のところには取り付けないでください。故障の原因になります。
 - ・水のかかるところ
 - ・足で踏まれるところ
 - ・ほこりの多いところ
 - ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
 - ・B-CASカードの出し入れの妨げになる場所

付属のクリーナーで、設置面（ガラス面、ピラー）の汚れ（ごみ、油）などをきれいに拭き取ってください。

右側のアンテナの貼り付けかたを例に説明しています。左側のアンテナも、右側と同様に貼り付けてください。

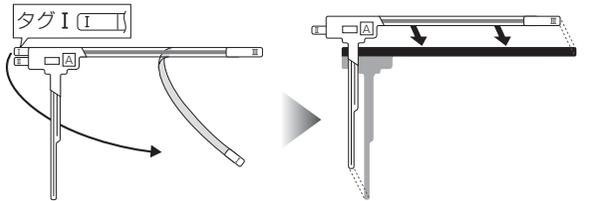
1 フロントガラスにアンテナを貼り付ける

地上デジタルアンテナは3層構造です。



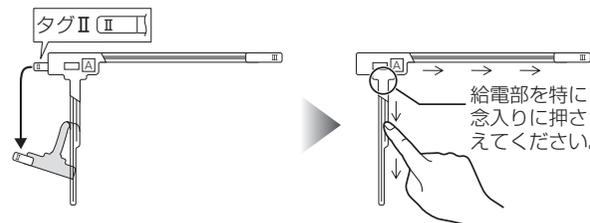
① 地上デジタルアンテナ・AのタグⅠを持ってセパレータをはがし、貼り付ける。

- フィルムを強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。
- フィルム・エレメントの糊面に触れないでください。
- 貼付位置を確認してから貼り付けてください。



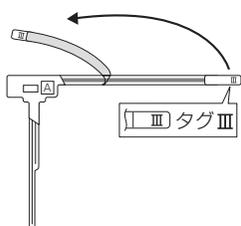
② タグⅡを持ってセパレータをはがし、エレメントをしっかりガラス面に密着させる。

- 矢印の方向に、エレメントに沿って指などで均等に押付け、たわみや気泡が残らないようにガラス面に密着させてください。
- 車外から見て、エレメントがガラス面に密着していることを確認してください。



③ タグⅢを持ってフィルムをはがす。

- エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながら、タグⅢを持って、ゆっくりとはがしてください。
- エレメントがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してエレメント上をこすり、再度はがしてください。

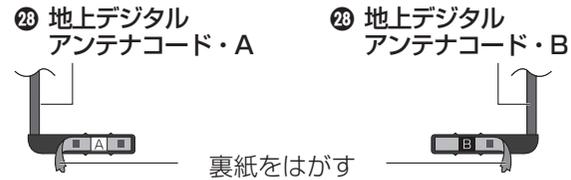


④ 地上デジタルアンテナ・Bも同様に貼り付ける。

2 アンテナコードを取り付ける

① 車の内張り（ピラーのカバー）を取りはずす。

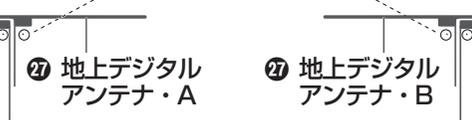
② アンテナコードのA・Bを確認して裏紙をはがし、



アンテナコードの端子を給電部に貼る。
(必ずAとA、BとBを組み合わせてください。)

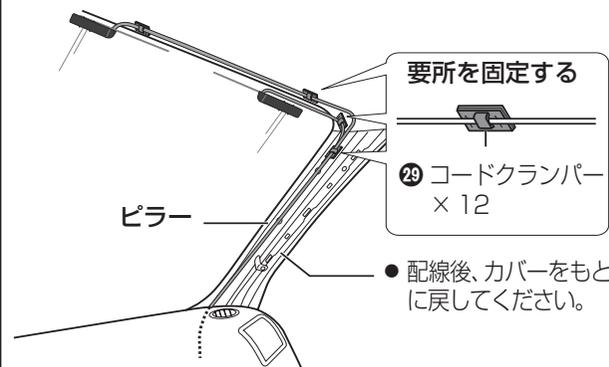
- アンテナコードの端子の向きを必ず確認してから貼り付けてください。

② 地上デジタルアンテナコード・A (逆L字型) ② 地上デジタルアンテナコード・B (L字型)



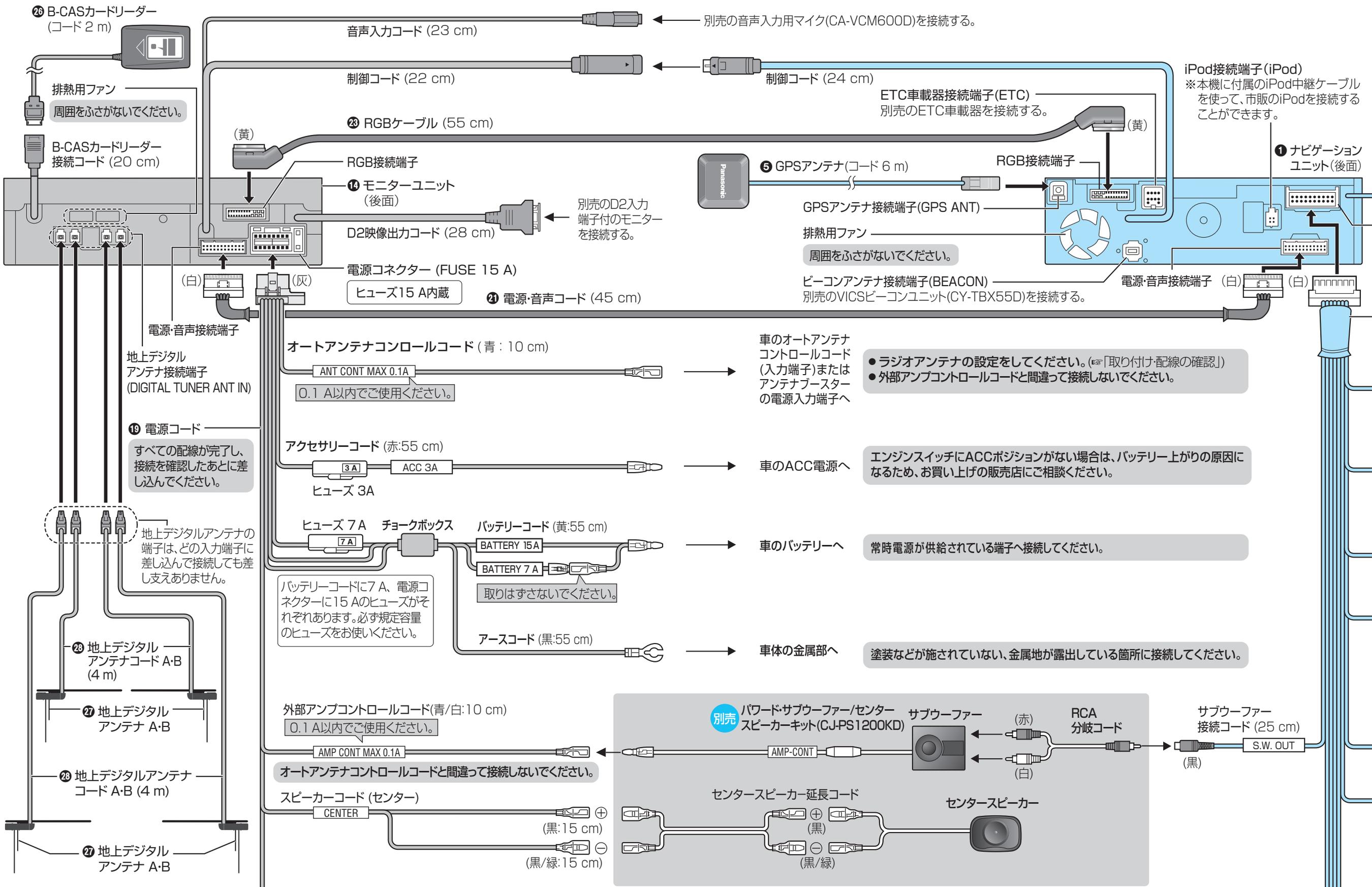
③ コードを引き回す。

- 他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。デジタルテレビの音声に雑音が入る原因になります。

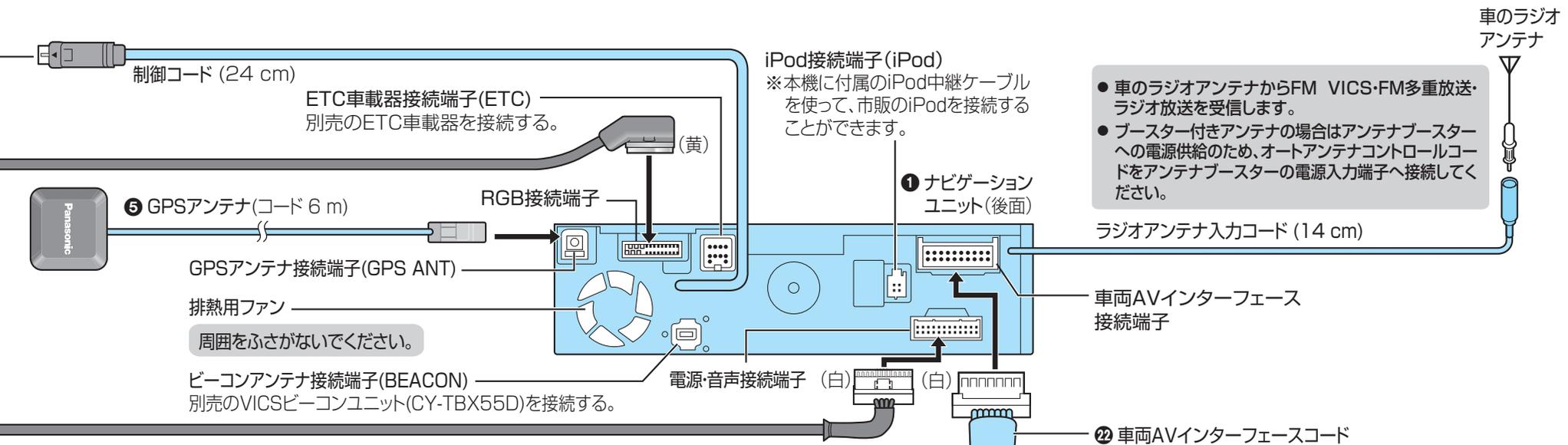


④ アンテナコードをモニターユニットに接続する。(裏面)

配線のしかた



別売の音声入力用マイク(CA-VCM600D)を接続する。



- 車のラジオアンテナからFM VICS・FM多重放送・ラジオ放送を受信します。
- ブースター付きアンテナの場合はアンテナブースターへの電源供給のため、オートアンテナコントロールコードをアンテナブースターの電源入力端子へ接続してください。

- お願い**
- コネクターは確実に差し込んでください。
 - コードは高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで固定してください。
 - ETC車載器接続端子に、モバイルコミュニケーションユニットやマルチメディアハブなどは接続しないでください。接続しても動作しません。
 - ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」(取扱説明書)にヒューズの交換を依頼してください。
 - 圧着式コネクターは、指定の箇所以外に使用しないでください。
 - キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップをはずさないでください。
 - シール付きの端子は、使用しないときはシールをはがさないでください。
 - ノイズ防止のため、地上デジタルアンテナのコード、車のラジオアンテナのコード、GPSアンテナのコード、電源コードはナビゲーションユニットや他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。地上デジタルテレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。

車のオートアンテナコントロールコード(入力端子)またはアンテナブースターの電源入力端子へ

- ラジオアンテナの設定をしてください。(※「取り付け配線の確認」)
- 外部アンプコントロールコードと間違えて接続しないでください。

車のACC電源へ

エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、バッテリー上がりの原因になるため、お買い上げの販売店にご相談ください。

車のバッテリーへ

常時電源が供給されている端子へ接続してください。

車体の金属部へ

塗装などが施されていない、金属地が露出している箇所に接続してください。

カメラ信号入力コード(茶/黄:15 cm)
CAMERA CONT IN → 拡張用です。

カメラ映像入力コード(20 cm)
CAMERA IN → 映像(黄) → 別売のリヤビューカメラ(CY-RC50KD)を接続する。

音声入力コード(20 cm)
AUDIO IN → 音声左(白) / 音声右(赤)

映像入力コード(20 cm)
VIDEO IN → 映像(黄)

別売のビデオカメラなどを接続する。

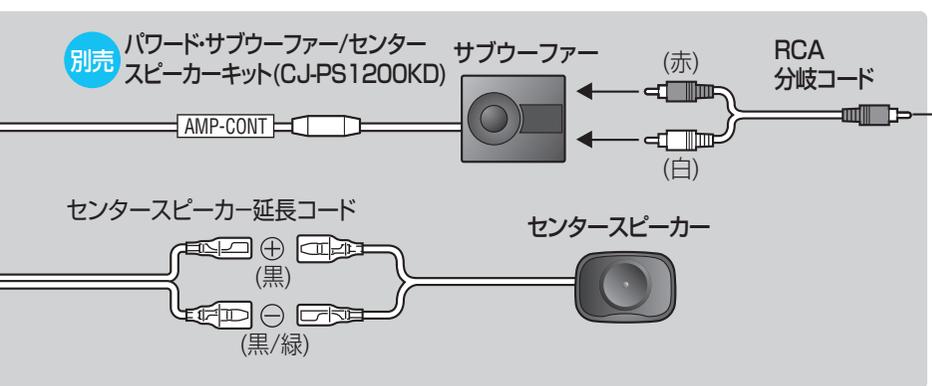
音声出力コード(25 cm)
RSE OUT → 音声左(白) / 音声右(赤)

映像出力コード(25 cm)
VIDEO OUT → 映像(黄)

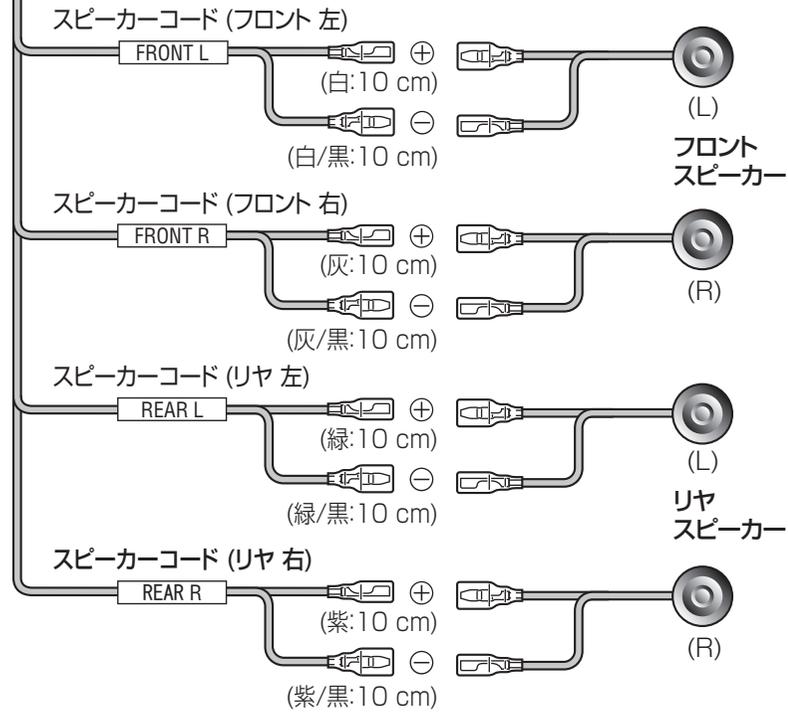
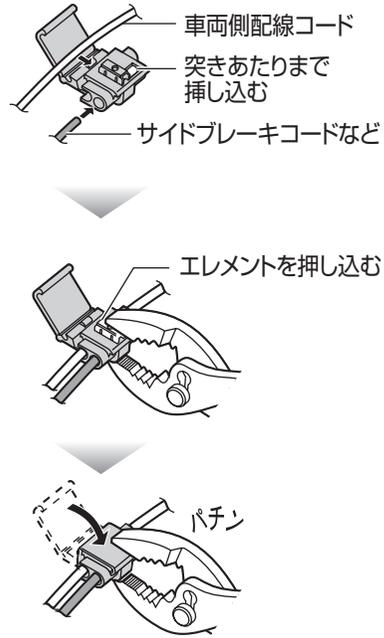
別売の2台目のモニターなどを接続する。

別売のビデオカメラなどを接続する。

- 音声出力コードからの音声には、下記の設定の効果はありません。
・サラウンド効果 ・バランス/フェーダー ・イコライザー
- コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。



■ 圧着式コネクターの取り付けかた

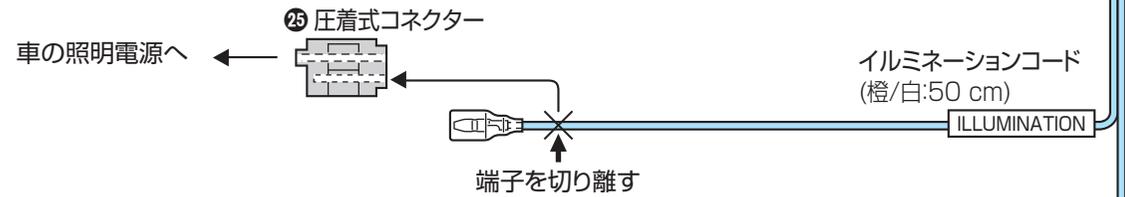
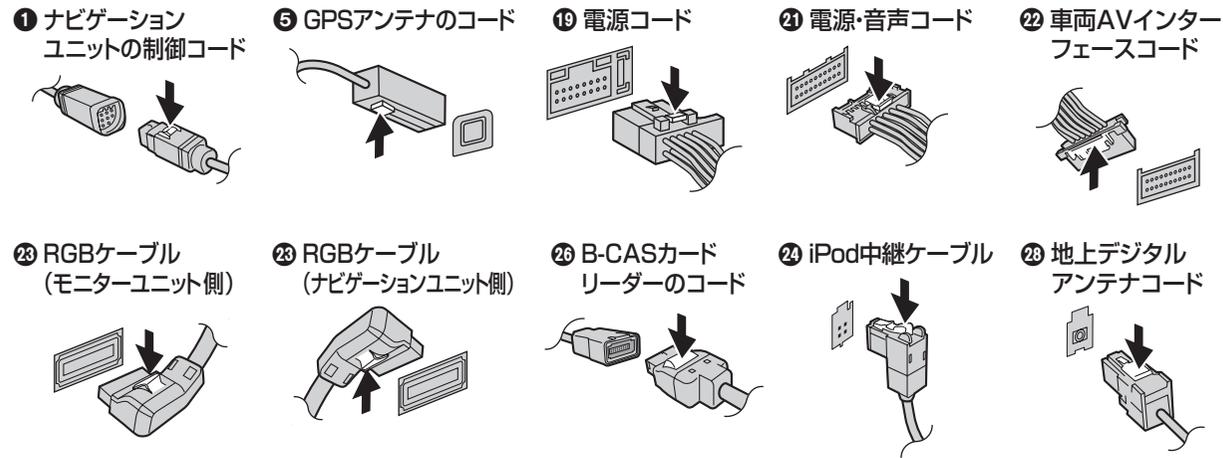


- スピーカーコードは、各スピーカーへ正しく接続してください。スピーカー破損の原因になります。
- 最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ωから8 Ωのスピーカーを使用してください。
- 使用しないスピーカーのコードは、先端をビニールテープなどで絶縁してください。
- 接続したスピーカーに合わせてスピーカーの設定をしてください。(取扱説明書)

■ ロック付きコードの取りはずしかた

矢印の方向に押しながら、取りはずしてください。

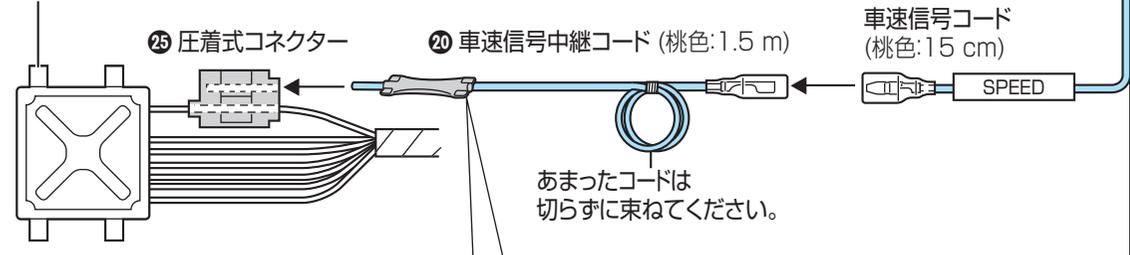
- 無理に引っ張ると、破損することがあります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。



■ 車速信号コードを接続する

車速信号取り出し箇所は、車種・年式・エンジン型式によって異なりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。必ず、付属の車速信号中継コードを使用してください。

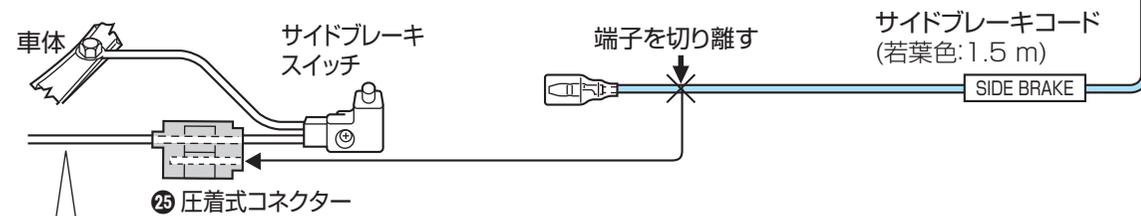
エンジンコントロールコンピューターユニット (ECU)



この部分は回路保護部品です。切り離したりせず、必ずこの状態のまま車速信号取り出し箇所の方に接続してください。

■ サイドブレーキコードを接続する

サイドブレーキコードは必ず接続してください。正しく接続し、サイドブレーキを引いていない場合には、操作が制限されます。

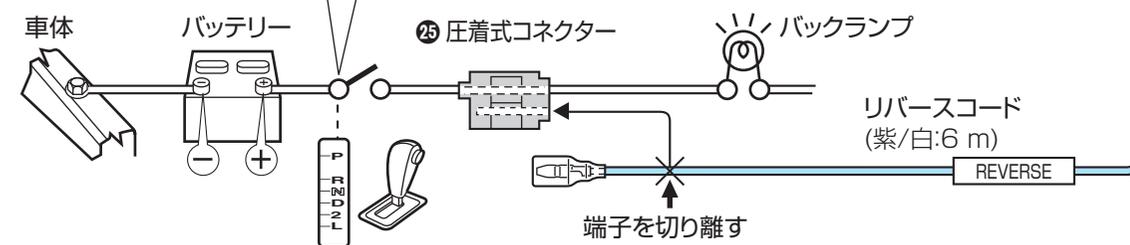


サイドブレーキが解除のときに車体にアースされていない方へ接続してください。

■ リバースコードを接続する

リバースコードは必ず接続してください。自車位置が正しく表示されない場合があります。

車のシフトレバーをリバース(R)に入れたときに点灯するバックランプ (後退灯、透明のレンズが付いたランプ) のプラス線に接続してください。



接続する各機器の説明書も、よくお読みください。

● 推奨品以外の機器と接続する場合は、ご利用できない場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

別売 VICS ビーコンユニット

品番：CY-TBX55D

電波 / 光ビーコンから VICS 情報を受信できます。



接続後、必ずコネクターヘカバーをかぶせてください。
(はずれ防止・コネクター保護のため)



別売 VICSビーコンユニット
(CY-TBX55D)

ビーコンアンテナ
接続端子 (BEACON)

① ナビゲーション
ユニット (後面)

ETC車載器接続端子 (ETC)

iPod接続端子 (iPod)

お知らせ

- 電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコンが受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンが受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

別売 ETC 車載器

品番：CY-ET807D(例)

料金所で ETC 拡大図を表示したり、料金履歴を確認できます。

- 別売のETC車載器(CY-ET807D)のほかに、ETC車載器接続コード(CA-EC31D)が別途必要です。



別売 ETC車載器
(CY-ET807D)

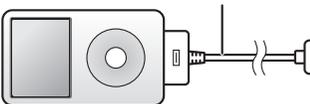
別売 ETC・ナビ接続コード
(CA-EC31D)

市販 iPod

iPod を接続し、音楽を楽しめます。
(取扱説明書)

- 本機に付属のiPod中継ケーブルで接続してください。
- iPodのほかにiPod付属のUSB2.0ケーブルが必要です。
- 本機と接続中は、iPod本体では操作できなくなります。
- 本機と接続中は、iPodは充電されます。

市販 iPod USB2.0ケーブル
(iPodに付属)



② iPod
中継ケーブル

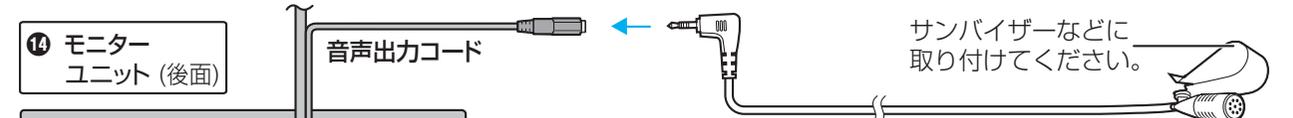
お願い

- iPod中継ケーブルにiPod以外のUSB機器を接続しないでください。
- 本機と接続するときは、iPodのリモコンやヘッドホンなど、iPodのアクセサリを接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodを着脱しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因になる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。また、iPodを着脱するときにコードを引っばらないでください。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、市販のクランパーやテープなどで要所を固定してください。
- 運転中にiPodが動かないようにホルダーなどでしっかりと固定してください。
- iPodを車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- 接続するiPodの説明書も、併せてご覧ください。

別売 音声入力用マイク

品番：CA-VCM600D

内蔵のマイクで音声認識やハンズフリーがうまくできない場合、お使いください。



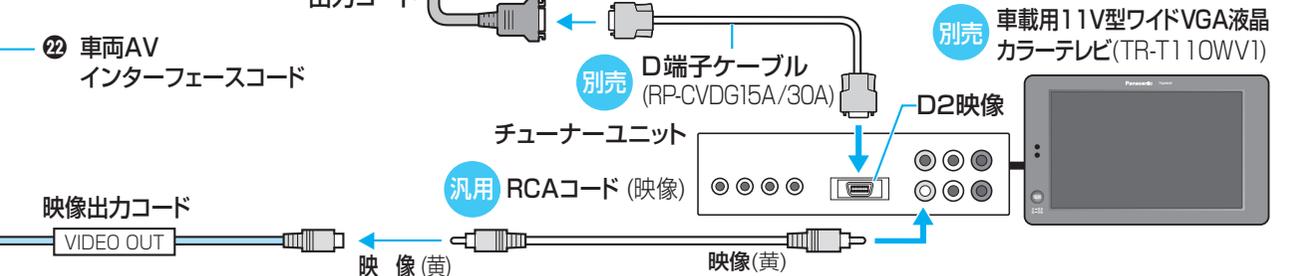
別売 音声入力用マイク
(CA-VCM600D) (コード 6 m)

サンバイザーなどに
取り付けてください。

別売 2台目のモニター 品番：TR-T110WV1(例)

2台目のモニターに本機の映像を表示できます。

- 2台目のモニターにD端子がない場合は、映像入力端子にのみ接続してください。



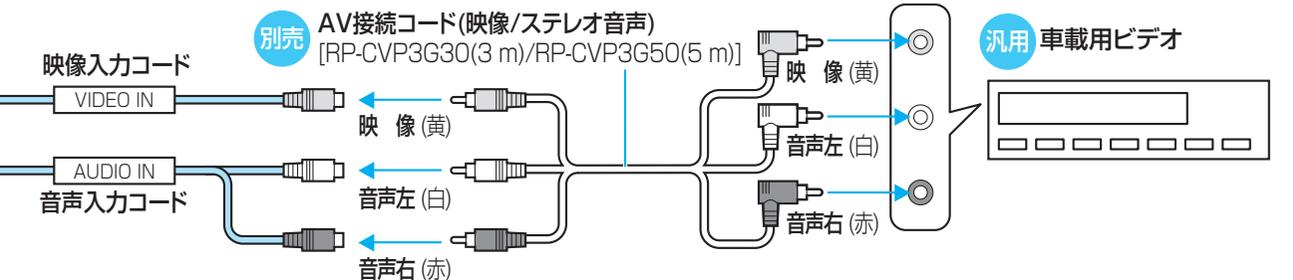
別売 D端子ケーブル
(RP-CVDG15A/30A)

別売 車載用11V型ワイドVGA液晶
カラーテレビ(TR-T110WV1)

汎用 RCAコード (映像)

汎用 車載用ビデオ

車載用ビデオを接続できます。



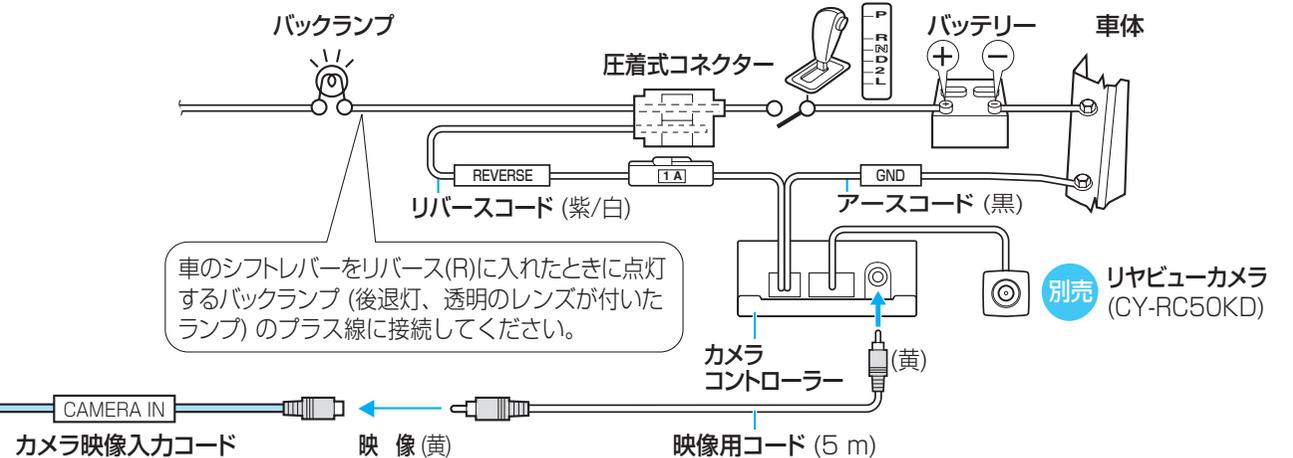
別売 AV接続コード(映像/ステレオ音声)
[RP-CVP3G30(3 m)/RP-CVP3G50(5 m)]

別売 リヤビューカメラ

品番：CY-RC50KD(例)

リヤビューカメラを接続できます。

- 取り付け後、必ずカメラ割込み設定を「する」にしてください。(取扱説明書)



別売 リヤビューカメラ
(CY-RC50KD)

車のシフトレバーをリバース(R)に入れたときに点灯するバックランプ (後退灯、透明のレンズが付いたランプ) のプラス線に接続してください。

取り付け・配線の確認

下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

① 電源を入れる

- 1 車のエンジンをかける。
または ACC に入れる。

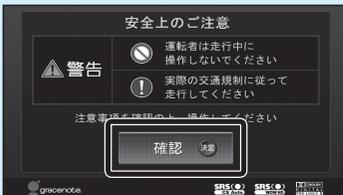


- ナビゲーションの電源が入ります。

- 2 OPEN を押して、
モニターを立ち上げる。



- 3 注意事項を確認して、
確認 にタッチする。



- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
- 現在地画面が表示されるまで、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。

- 4 見通しの良い場所で、GPS 信号 (GPS) を受信していることを確認する。



- GPS マークが表示されなときや点滅が継続するときは、受信状態を確認してください。(取扱説明書)

② 取付角度設定・車両信号情報・拡張ユニット情報の確認をする

- 1 MENU を押す。

- ツートップメニューが表示されます。

- 2 情報 / 設定 にタッチする。



- 情報 / 設定画面が表示されます。

- 3 情報 → システム情報 にタッチする。



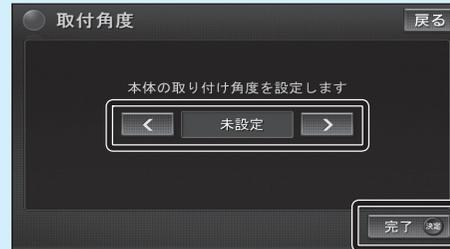
- 4 設定する項目を選ぶ。



→ 取付角度設定 / 車両信号情報 / 拡張ユニット情報それぞれの手順 5 へ (取扱説明書)

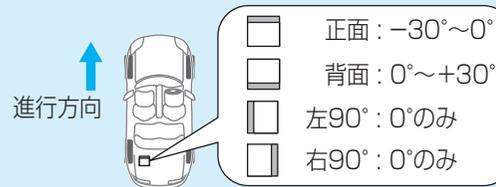
取付角度設定

- 5 取り付け角度を設定し、完了 にタッチする。



- 調整範囲：(5° ステップ) - 30° ~ + 30°
- お買い上げ時の設定：未設定

ナビゲーションユニットを取り付けた向きに応じて、下記の範囲で設定してください。

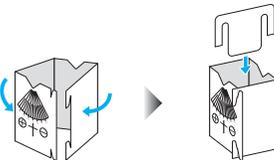


お願い

- SALAS (取扱説明書) による、立体駐車場などでの自車位置測位の精度を向上させるため、必ず設定してください。(お買い上げ時は、「未設定」となっています。)

■ 取付角度を測る

- ① 取付ゲージを組み立てる。



お願い

- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。
- ナビゲーションユニットを取りはずし、再度取り付ける際にも取付角度の設定は必要となります。取付ゲージは大切に保管してください。

- ② 車体が水平になる場所で、ナビゲーションユニットに取付ゲージを下図のようにあて、ナビゲーションユニットの取付角度を測る。

- ナビゲーションユニットの向きに関わらず、⊕マークを車の進行方向に向けて測ってください。
- 別売のケーブル [CA-LND060D (6 m) / CA-LND040D (4 m)] を使用して床に置いた場合は、取付ゲージをナビゲーションユニットの上に置いて、角度を測ってください。



車両信号情報

- 5 車両信号を確認する。



- ① 「リバース」「サイドブレーキ」「スモールランプ」「GPS アンテナ」「スピード」「ACC 電圧」を確認する。
- ② パルスリセット にタッチして、「車速パルス」をリセットする。
同じように、「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3D センサー補正」もリセットする。
- ③ 現在地画面を表示させ、平均時速 20 km 以上で見通しの良い場所をしばらく (60 分程度) 走行したあと、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3D センサー補正」を確認する。

リバース	シフトレバーを R (リバース) に入れると、ON 表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くと、ON 表示に変わりますか？
スモールランプ	車のスモールランプが点灯すると、ON 表示に変わりますか？
GPS アンテナ	ON 表示になっていますか？

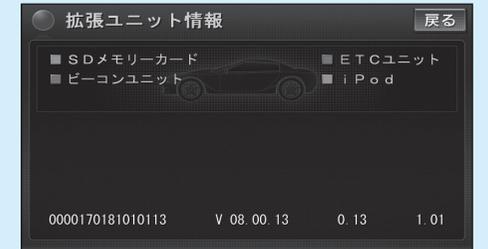
スピード	自車の速度を表示します。
ACC 電圧	約 12 V (11 ~ 16 V) になっていますか？

車速パルス*	リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
学習レベル	リセットすると「レベル 0」になります。走行後、数字が変化していますか？ (レベル 4 が最大)
ジャイロ角度補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？
3D センサー補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？

* 車から出力される車速パルスに一定の係数 (車速補正係数) をかけて距離を算出し、より正確な自車位置を地図画面上に表示させることができます。(全自動距離補正システム)

拡張ユニット情報

- 5 拡張ユニットの取り付けを確認する。



SD メモリーカード	別売の SD メモリーカードを挿入すると、ON 表示に変わりますか？
ビーコンユニット	別売の VICS ビーコンユニット (CY-TBX55D) を接続している場合、ON 表示になっていますか？
ETC ユニット	別売の ETC 車載器 (CY-ET807D など) を接続している場合、ON 表示になっていますか？
iPod	市販の iPod を接続している場合、ON 表示になっていますか？

お知らせ

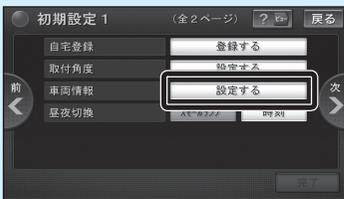
- 次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3D センサー補正」をリセットしてください。
・別の車に本機を載せかえた
・タイヤを交換した
・タイヤをローテーションした
- 市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、また GPS 信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出る場合があります。
- 車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

③ ラジオアンテナを設定する

1 情報 / 設定画面から 初期設定 にタッチする。



2 車両情報の 設定する にタッチする。

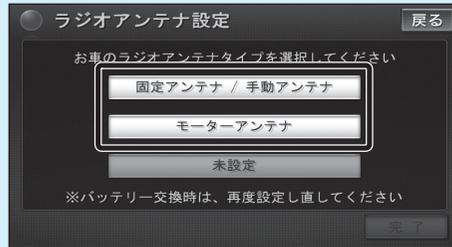


- ルートを設定しているときは、選べません。ルートを消去してください。(取扱説明書)

3 ラジオアンテナ設定の 設定する にタッチする。



4 車のラジオアンテナタイプ を選ぶ



- FM VICS・FM多重放送・ラジオ放送を受信させるため、必ず設定してください。(未設定の場合は受信できません。)

固定アンテナ / 手動アンテナ :

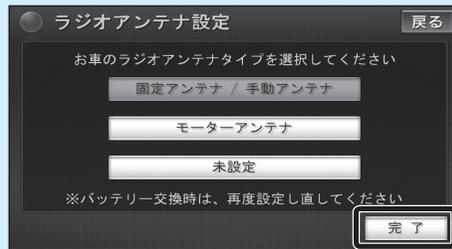
車のラジオアンテナがオートアンテナ以外の場合、こちらを設定してください。

モーターアンテナ :

車のラジオアンテナがオートアンテナの場合、こちらを設定してください。ツートップメニュー画面でアンテナの上げ下げができるようになります。(取扱説明書)

- お買い上げ時の設定: 未設定

5 完了 にタッチする。



モーターアンテナを操作する

ラジオアンテナを「モーターアンテナ」に設定した場合、ツートップメニュー画面でアンテナの上げ下げができます。

■ アンテナを上げる



- 上げる を選ぶと、モーターアンテナが上がります。
- FM VICS・FM多重放送・ラジオ放送を受信するために、通常はモーターアンテナを上げてください。

■ アンテナを下げる



- 下げる を選ぶと、モーターアンテナが下がります。
- 立体駐車場などの天井の低い場所に入るときには、モーターアンテナを下げてください。

お知らせ

- モーターアンテナの状態は本機の電源を切っても記憶されています。上げた状態のまま電源を切った場合、いったんアンテナは収納され、次回起動時に自動的に上がります。

お願い

- モーターアンテナ車は、ラジオアンテナ設定で必ず「モーターアンテナ」に設定してください。「固定アンテナ/手動アンテナ」に設定すると、アンテナが上がったままとなり、立体駐車場など天井の低い場所に入るときにアンテナを破損する原因になります。

お知らせ

- バッテリー交換などでバッテリーコードをはずすと、お買い上げ時の設定(「未設定」)に戻ります。再度、設定しなおしてください。

以上で取り付け・配線の確認は終了です。

不完全な項目があるときは、正しく取り付け・配線されていない可能性があります。再度取り付け・配線を確認してください。